

## グループの旗

Bコース: 4 グループ

グループのネーミング

新時代

シンボルマーク



2024年 3月 26日

チーフアドバイザー

市川 勝巳

アドバイザー

鬼武 清彦

## 役割分担

No	役割	氏名	会社名
1	リーダー	星野 巨希	株式会社デンソーエレクトロニクス
2	サブリーダー		
3	発表者	朝川 貴裕	トヨタ紡織 株式会社
4	質問者	鈴木 龍和	三菱自動車工業 株式会社
5	書記1	梅永 萌光	株式会社アーレスティ
6	書記2	中野 隆秀	環工業株式会社
7	時間係・5S	杉浦 伸紀	株式会社 大テック
8			
9			

## グループの決め事

No	内容	評価
1	みんなが積極的に発言する	○
2	みんなで時間を守る	○
3	一人1意見	○
4	名前も覚えて帰る	○
5	積極的に相手の意見に質問をする。	○

★活動終了時に全員で評価を実施します

★評価は、○、△、×等で記入

※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう!

## チェックシート(現状把握用)

Bコース: 4 グループ

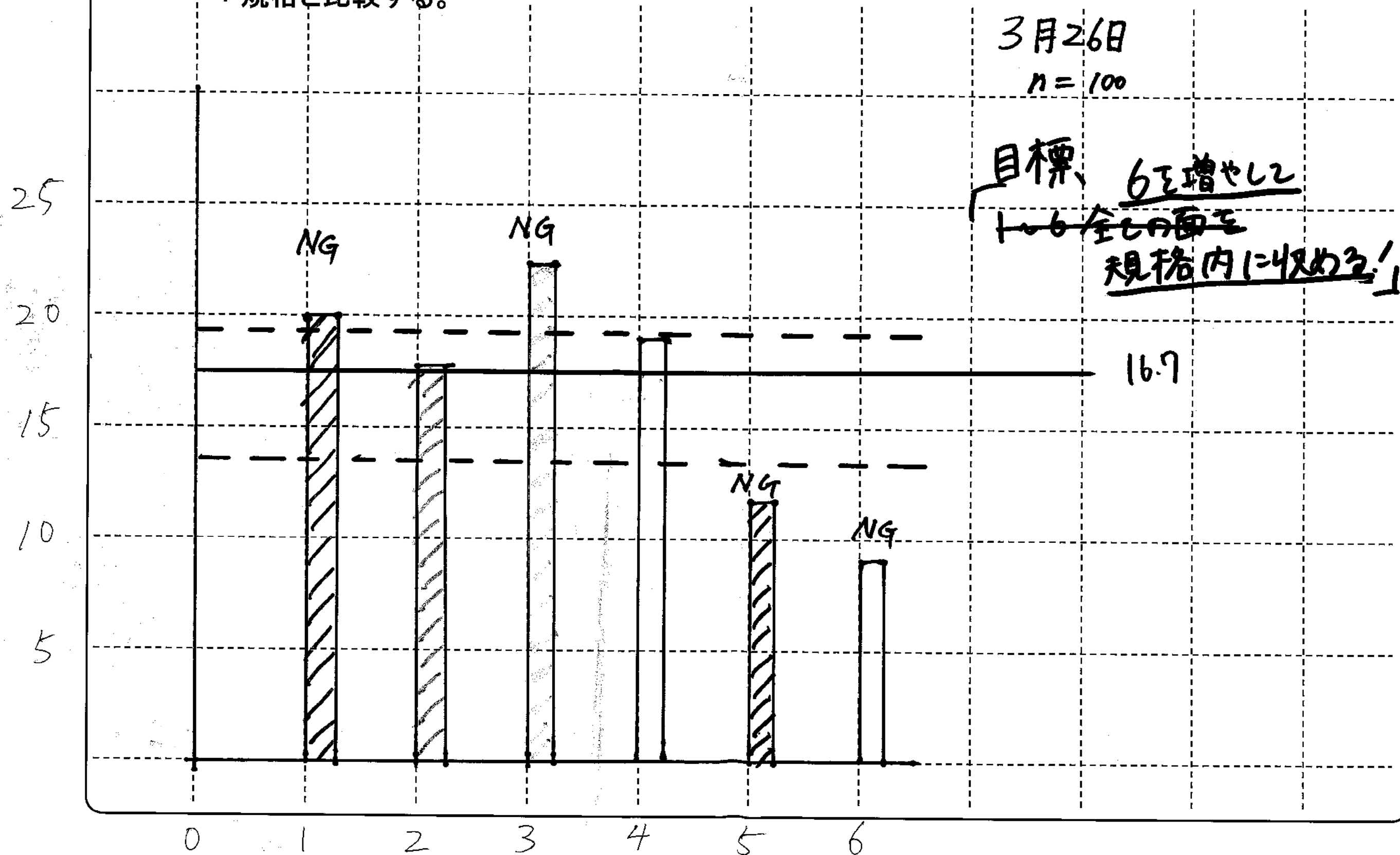
目 氏名	サイコロの出目の数						
	1	2	3	4	5	6	計
鈴木	<sup>4</sup>	<sup>5</sup>	<sup>7</sup> 	<sup>4</sup>	<sup>4</sup>	<sup>1</sup>	25
中野	<sup>5</sup>	<sup>4</sup>	<sup>5</sup>	<sup>7</sup> 	<sup>1</sup>	<sup>3</sup>	25
朝川	<sup>6</sup> 	<sup>4</sup>	<sup>6</sup> 	<sup>3</sup>	<sup>4</sup>	<sup>2</sup>	25
杉浦	<sup>5</sup>	<sup>4</sup>	<sup>5</sup>	<sup>5</sup>	<sup>3</sup>	<sup>3</sup>	25
計	20	17	23	19	12	9	100
%	20	17	23	19	12	9	100

※グループで、2～3人が投げて、合計＝100回のデータをとる。

# 現状の把握と目標設定

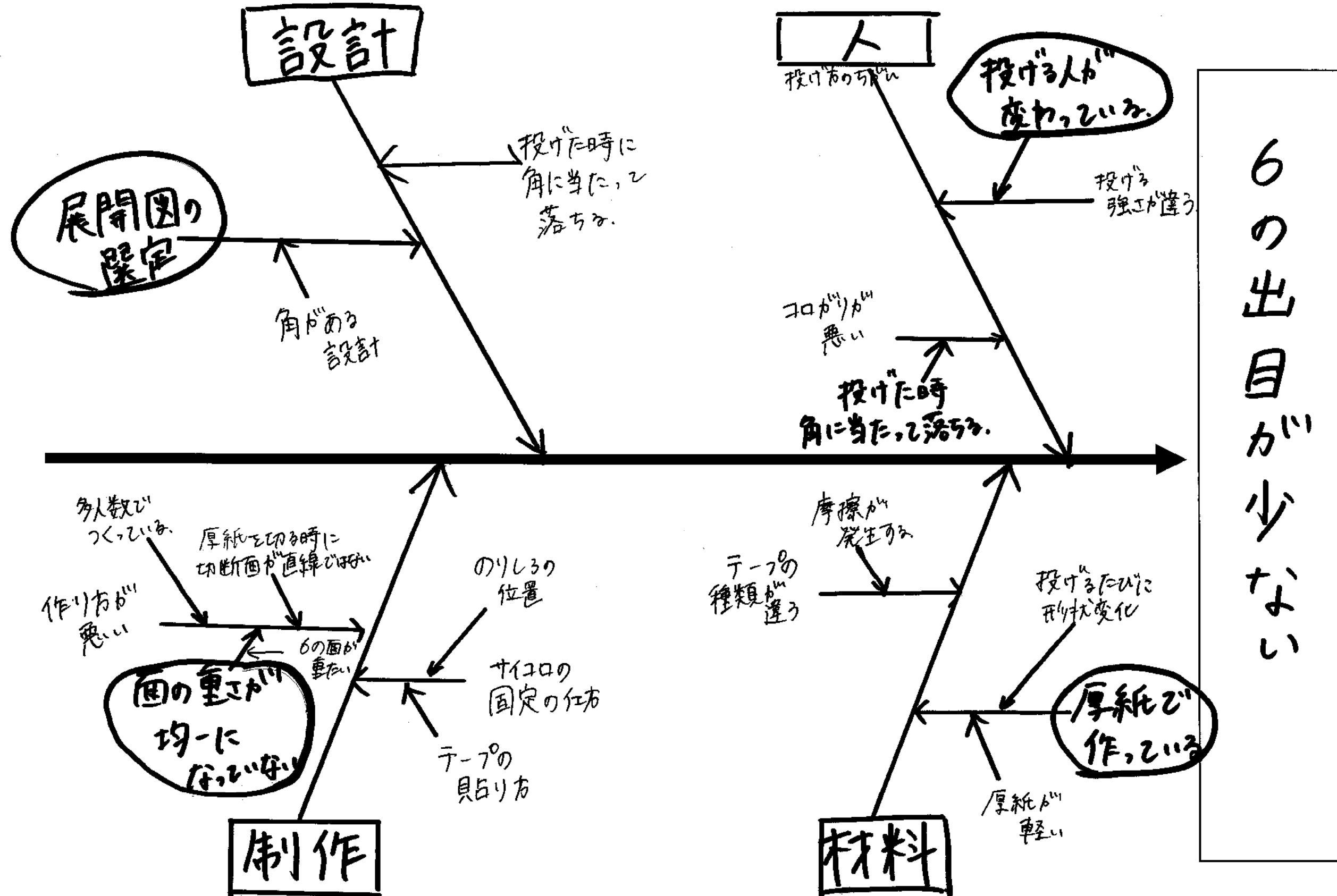
- \* 検査結果を棒グラフで表す。
- \* 規格と比較する。

- \* 目標値を決める。



# 要因の解析

\* 特性要因図を使って要因を絞り込む



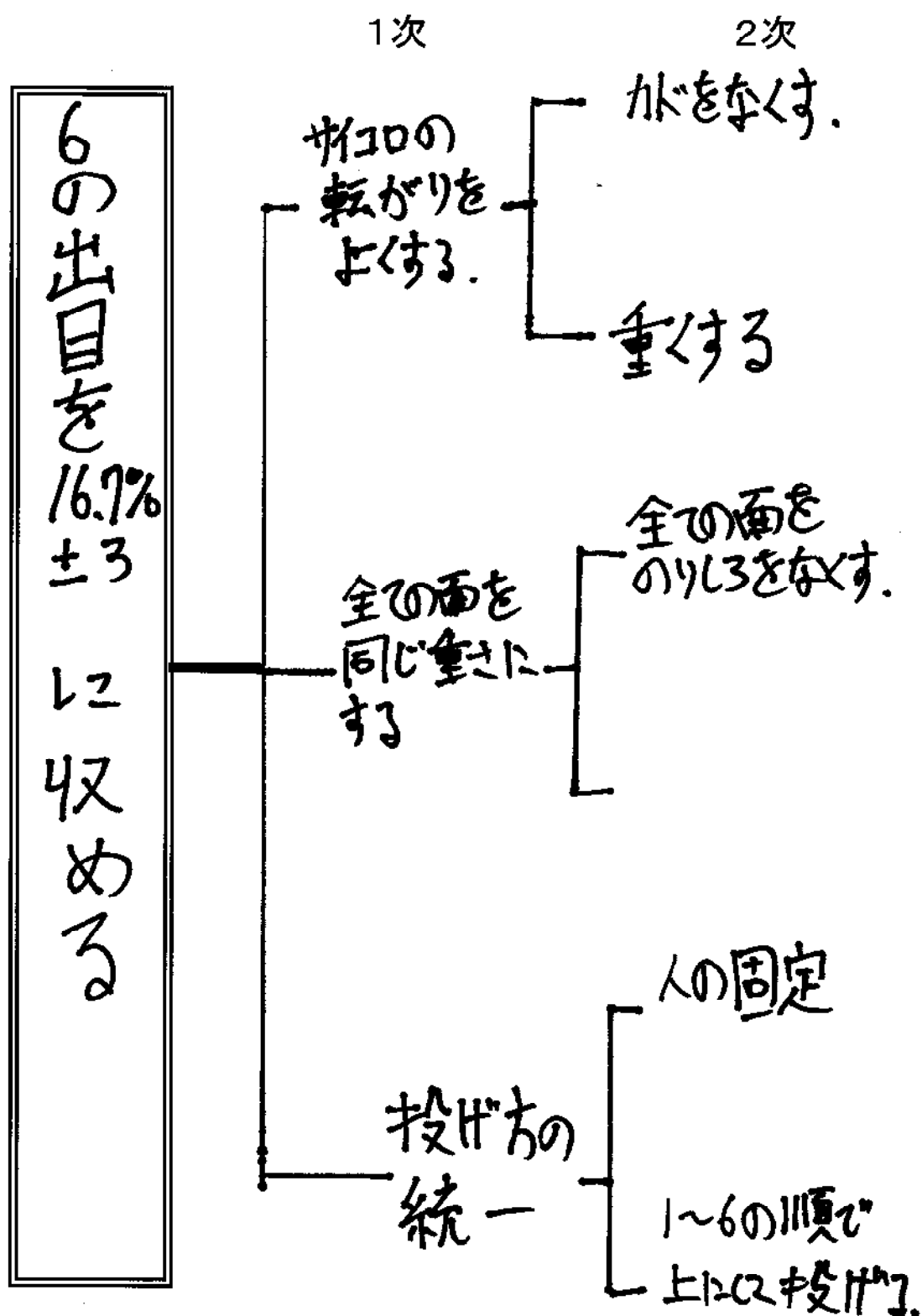
## 対策の立案・検討と実施

**\* 系統図法・マトリックス図法を使って対策立案、検討**

**\* アイデアをたくさん出す**

◎3点    ○2点    △1点

效果 突現性



	効果	実現性	時間	
1面ずつが同じ面を作る.	◎	△	△	5
○ のりしろのない展開図	◎	◎	◎	9
○ 全面テープ固定	◎	◎	◎	9
○ 同じ人が投げる.	◎	◎	◎	9
○ 1~6の順で上1に投げる.	◎	◎	◎	9
○ 全面を同じ重さにする.	◎	◎	<del>◎</del>	8
サイコロの重さを増やす.	○	△	△	4

## チェックシート(効果確認用)

Bコース: 4 グループ

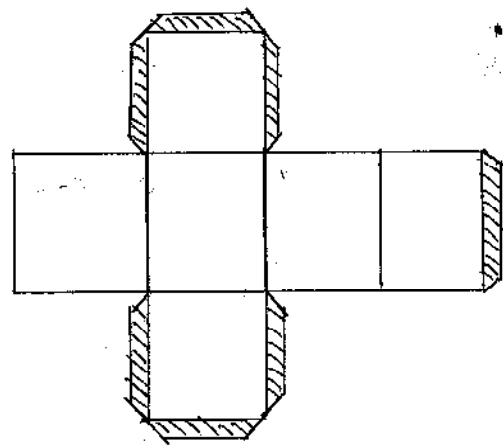
目 氏名	サイコロの出目の数						計
	1	2	3	4	5	6	
朝川	### ### ### ###	### // ###	### ### ### /	### ### ### //	### ### ### ///	### ### ###	
	/						
計	21	12	16	17	19	15	
%							

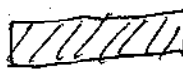
※グループで、2～3人が投げて、合計＝100回のデータをとる。

## 効果の確認

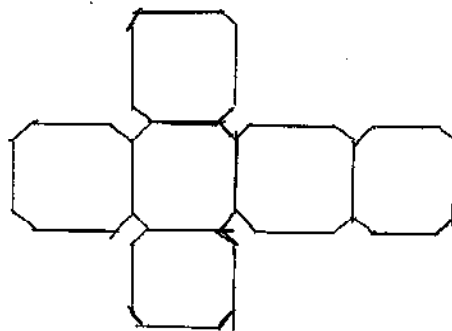
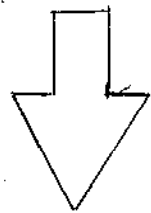
\* 工作図など活用

### 【対策後のサイコロ説明】



・  の部分が  
のりしろ部分

・ 角のある展開図に  
なっている。



・ のりしろを無くした

・ 角のない展開図に  
変更。

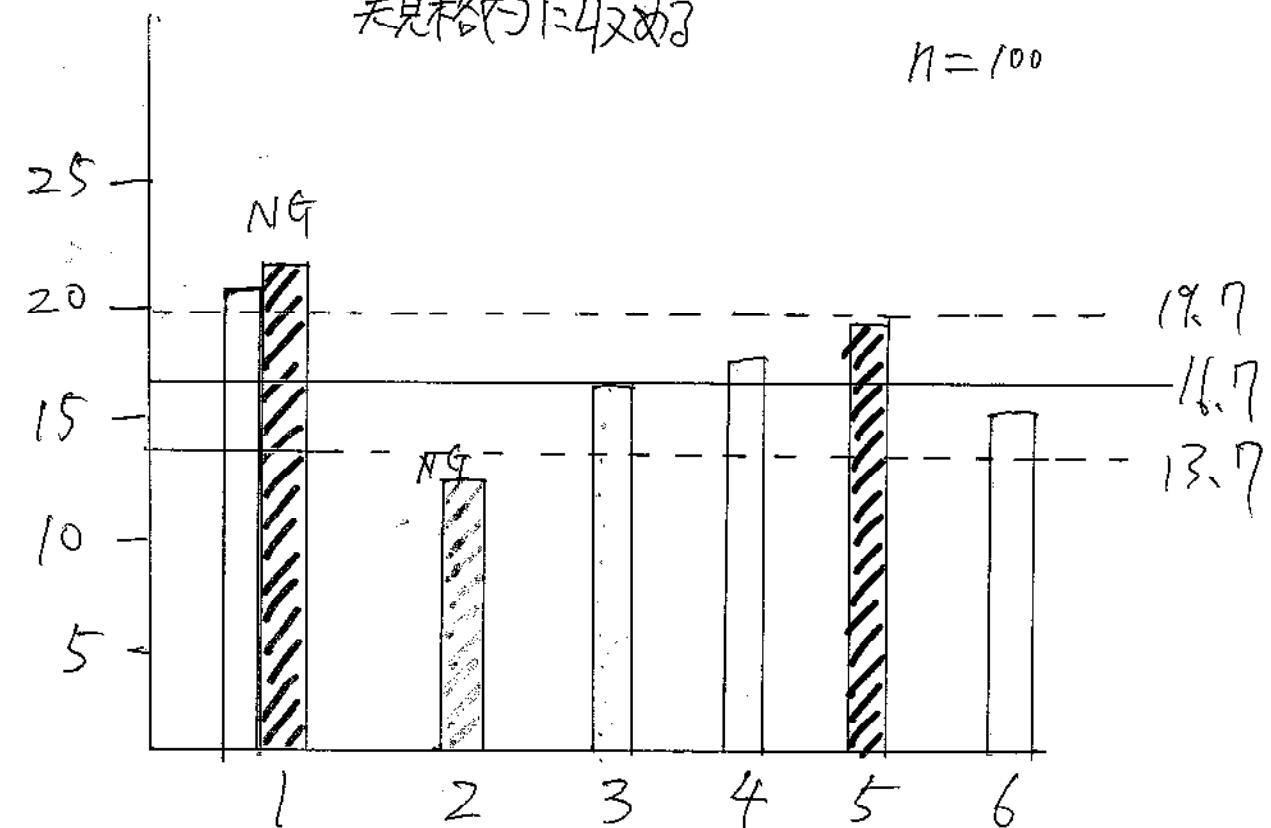
\* 棒グラフで対策前と対策後の差が見えるように  
また、目標に対してどうだったのかを記入する

### 【対策後の目標との比較】

「目標」6の出目を増やして  
夫見格約に42%増

3月26日

n=100



目標としていた「6の出目を増やして規格約に42%増  
を達成しました。」

## まとめ

Bコース: 4 グループ

(1)標準化(有効な対策を記録しておく。何をどうする)

- ・作成方法の指示書を作る。
- ・投げる人の要領書の作成と教育

(2)活動の評価(研修を通して学んだことなど)

- ・普段QC課活動をまとめる事がなかったが、今回の活動を通じて、QCの手川員だけでなく、問題解決までのプロセスも学べました。星野
- ・活動を通じて、意見や対策の取りまとめ、選抜が難しく感じました。今日の経験を生かし、今後の活動に努めたいと思います。鈴木
- ・QCとは何かというところから学びました会社に戻って活かしたいです  
中野
- ・活動を通じ、QC活動に生かしたいです 朝山
- ・QCの進め方、サークル員と協力して問題解決が楽しくて学びました 梅永

(3)反省と今後の進め方

(今回の研修を今後どう活かしていくかなど)

- ・今後、会社に戻って、自分たちのQC活動に活かしていきたい。星野
- ・今日の活動では目標を達成出来ましたが、次は誰が作業(行動)をしても、定めた数値、結果が出来る様に切り結めたいです。鈴木
- ・決められた時間内で目標達成できたので、次に活かしたいです。中野
- ・今後、会社でも作業の進め方に生かして行きたいです。朝山
- ・今回学んだことを教育できるようにさらに勉強していきたいです。梅永